



【会派 NEWS】

2019(令和元)年 7 月 29 日号 週刊 Vol.23

お気軽にご連絡ください

〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

TEL 090-3345-6929

FAX 042-381-5074

watanabedaizou@gmail.com

小金井市の庁舎建設に活かすべく、先進自治体を視察

神奈川県平塚市の市庁舎建設



8 会派 10 議員で視察(左端＝渡辺大三)

7 月 24 日、市議会の有志(8 会派 10 議員)で、神奈川県平塚市に日帰り視察に行つてまいりました。テーマは「市庁舎建設」です。

平塚市の市庁舎は、平成 29 年 12 月に完成したばかりで、設計を担当したのは、現在小金井市の基本設計を担当している(株)佐藤総合計画。

平塚市庁舎の最大の特徴は、国の機関である税務署との複合建築になっている点です。これは、税務署の建て替えに際し、建設予定地の地下に毒ガス(!)があることが判明して工事不能になり、困った国が平塚市の市庁舎建設計画に便乗して複合建築としたものです。

視察結果として、いくつかのポイントを挙げておきたいと思います。

- ① 平塚市では、基本設計案に対するパブリックコメント(市民の意見募集)を実施し、26 人から 54 件の意見が提出されている。
- ② 平塚市では、駐車場の相当部分を地下に建設した。
- ③ 平塚市では、基本設計では地下 1 階と地下 2

階を駐車場とする計画だったが、実施設計において地下 1 階のみを駐車場とすることとした。コストダウンの観点と、地下 1 階が当初より広い面積で駐車場にできることが分かったことによるもの。

- ④ 平塚市では、コストダウンの観点で、建物の階数を少なくし、また、当初「自動ドア」を予定していた箇所の一部を手動開閉にするなどの変更をしている。

小金井市の市庁舎建設においては、以下の点が重要だと思います。

- ① 基本設計案ができた時点で、きちんとパブリックコメントを実施すべきである。また、いつものように「貴重なご意見ありがとうございました」で済ませるのではなく、出された意見について真摯に検討する必要がある。
- ② 小金井市の場合は、「免震構造」で生み出される地下空間に関しては、地下駐車場として有効活用する方策を講じるべきである。また、平塚市の場合は市庁舎に公園が隣接しているが、小金井市は近傍に大きな広場や公園がないので、敷地内に確保する工夫が求められる。
- ③ 施設全体に関して、コストダウンが徹底されているかどうか、厳しく検証する必要がある。

移動支援費支給ミス問題 市長に対し問責決議

6 月定例議会最大の焦点は、障がい者の皆さんの移動(外出)支援の給付金に関する支給ミス事件(約 12 年間、規則に違反した内容で支給)でした。

「渡辺大三 週刊 NEWS」(6月3日号、6月17日号、6月24日号)で詳しく背景をお知らせしてまいりましたが、6月24日、市議会は、賛成多数で西岡市長への問責決議(責任を問う決議)を可決しました。私も、案件の処理に関して行政が文書管理規程違反を犯しているのが明らかなのに、それを認めようとせず、再発防止策すら示さない西岡市長の態度は問題が多いと考え、決議案に賛成しました。市長は規程違反の事務を反省すべきです。

また、西岡市長側は、市が移動支援事業者に支給している時間外加算に関して、支給した後はガイドヘルパーに時間外加算を支給するかどうかも含めて、事業者の自由である・・・と開き直っています。耳を疑います。時間外加算なのですから、実際に移動支援にあたったガイドヘルパーに支給されないのは問題が多いと私は思います。

問責決議案に対する各会派各議員の賛否は以下の通りでした。

賛成＝情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・河野)、共産党(森戸・板倉・水上・たゆ)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)

反対＝みらい(立憲民主党＋無所属)(鈴木・村山・岸田・沖浦)、こがおも(白井)、市民会議(斉藤)、ネット(田頭)、カエル(片山)、緑つながる(坂井)

退席＝改革連合(篠原)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決不参加。

戦闘機墜落の原因究明等を求める 意見書を可決

6月24日、小金井市議会は、「F-35 戦闘機墜落原因の究明及び今後の調達に関する意見書」を賛成 13 反対 10 で可決し、首相、外務大臣、防衛大臣に送付しました。

意見書は「墜落事故の原因究明」と「今後の調達については国会及び国民に開かれた場で十分に議論し、必要性も含め見直しを行うこと」を求めるもの。

各会派各議員の賛否は以下の通りでした。

賛成＝情報公開こがねい(渡辺大三)、共産党(森戸・板倉・水上・たゆ)、みらい(立憲民主党＋無所属)(鈴木・村山・岸田・沖浦)、こがおも(白井)、ネット(田頭)、カエル(片山)、緑つながる(坂井)

反対＝自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・河野)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、市民会議(斉藤)、改革連合(篠原)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決不参加。

「議員定数 2 減」は継続審査

今回は 7/31 に委員会審査

6月定例議会に「情報公開こがねい」「自民党信頼」「公明党」の3会派共同で提出した市議会議員定数の2減条例案は、6月12日の議会運営委員会で審査され、継続審査と決まりました。次回の委員会審査は7月31日の予定です。

小金井市よりも人口が多い国分寺市で議員定数が「22」、小金井市が「24」では、市民の理解は得られません。

それに、現在、市庁舎の基本設計作業が行われていますが、議員が2名多い現状で設計すると議会の床面積が70㎡も余計に必要になります。床面積が大きければ、当然、建設コストも増えることになりすから、見過ごせません。

早期の可決をめざし、提案議員として取り組んでいきたいと思ひます。

脱ムダで市政を変える！

渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県生まれ。秋田県、宮城県、山形県を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補し、当選)。「脱ムダ改革」を掲げ、高額人件費問題など小金井市政のムダ遣いや不正、癒着、天下りを厳しくチェック。

現在＝小金井の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会(代表＝上田令子都議会議員)」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。

日々の市議会報告、活動報告、雑感

Twitter、facebook に掲載しております。「渡辺大三 HP」からアクセスできます。ぜひお読みください。

<http://www.daizou.org/>

NEWS 発行カンパのお願い

みずほ銀行 小金井支店 普通 1414875

口座名 情報公開こがねい

(お振込み後、お名前とご住所をお知らせください。領収証をお送りします/外国籍の方はカンパができませんのでご注意ください)